

お子さま（5歳～11歳）への 新型コロナウイルスワクチン接種のご検討をお願いします

令和4年9月

- ワクチン接種は強制ではなく、ご本人の意思または保護者の方の同意に基づいて受けていただくものです。効果や安全性を十分に理解したうえでワクチンの接種をご検討願います。

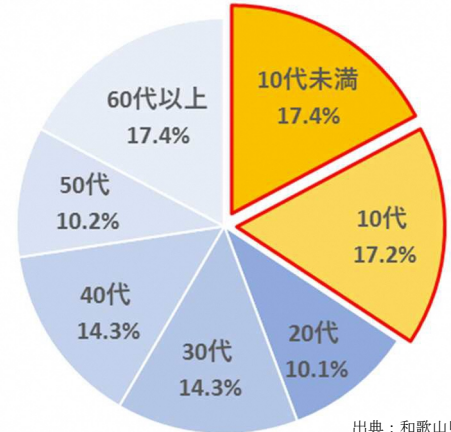


小児接種の努力義務化について

- 令和4年9月現在、オミクロン株の流行による感染者数の増加に伴い、**小児の感染者数も増加傾向**にあります。また、小児における重症例や死亡例の割合は低いものの、感染者数の増加に伴い重症者数は増加傾向にあります。
- こうした背景の中、オミクロン株に対するワクチンの効果や安全性に関する知見が集積されてきたことから令和4年9月6日より**小児接種にも努力義務が適用**されることとなりました。

県内の週別年代別感染者数の割合

令和4年9月11日週



出典：和歌山県調査

◇努力義務とは？

新型コロナウイルスワクチンの接種は、予防接種法上、感染のまん延防止のために緊急時に実施する予防接種に位置付けられており、国民は疾病予防のために接種を受けるよう努めることが求められています。

「努力義務」は「接種義務」とは異なり、接種に際し、個人の意思を反映できる制度です。最終的には、あくまでも、ご本人と保護者が納得した上でご判断いただくこととなります。

ワクチン接種の効果は？

- オミクロン株に対しても、**発症予防効果について中等度の有効性を、入院予防効果については高い有効性**があると報告されています。

発症予防効果

2回目のワクチン接種から
2～4週経過後

約 60%

2回目のワクチン接種から
5～8週経過後

約 30%

入院予防効果

2回目のワクチン接種から
30～59日経過後

約 80%

(出典：第36回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料)

ワクチン接種による副反応の状況は？

- ワクチン接種による副反応は、これまでの5～11歳における初回接種後の報告状況によると、ほとんどが軽度または中等度で回復しており、**安全性に重大な懸念は認められていない**と報告されています。（第35回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料）

●小児（5-11歳）ワクチン接種後の副反応疑い報告の状況

集計期間：R4.2.21～R4.8.7

	推定接種回数	医療機関報告数				製造販売業者報告数	心筋炎		心膜炎	
		件数	重篤報告数	死亡報告数	報告数		評価数	報告数	評価数	
接種件数 (1・2回計)	2,886,452	115	30	1	128	9	1	3	1	
		割合	0.004%	0.001%	0.00003%	0.004%	0.0003%	0.00003%	0.0001%	0.00003%

※報告数は予防接種との因果関係が不明な事象も含まれている。

出典：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会から引用

100万人のうち

重篤数：約10人

死亡数：約0.3人

心筋炎：約3人

心膜炎：約0.3人

●5～11歳の接種後7日間に現れた副反応の発現率

報告割合	接種後の症状（症状の発現率） ※①…1回目、②…2回目、③…3回目		
50%以上	疼痛 (①77.6% ②72.2% ③73.9%)		
10～50%	発赤 (①11.6% ②16.5% ③15.6%) 疲労 (①37.4% ②46.6% ③45.6%)	腫脹 (①9.5% ②14.0% ③16.4%) 頭痛 (①23.6% ②30.1% ③34.0%)	筋肉痛 (①8.0% ②12.5% ③18.3%) 悪寒 (①6.0% ②10.3% ③10.5%)
1～10%	発熱[38.0℃以上] (①3.5% ②8.8% ③6.7%) 下痢 (①6.8% ②6.5% ③4.9%)	関節痛 (①3.8% ②5.5% ③6.7%) 嘔吐 (①2.0% ②1.8% ③2.4%)	

出典：特例承認に係る報告書

小児ワクチンの3回目接種について

2回目接種から5か月経過したお子様への3回目接種が始まっています。ワクチンの効果は時間経過とともに低下していきませんが、追加接種により効果が回復すると報告されています。

接種するワクチンは1・2回目と同じ種類・同じ容量での接種となります。接種のご予約はお住まいの市町村にお問い合わせください。

～お子様や身近な方の健康を守るため、ワクチン接種を是非ご検討ください～



●専門的な相談（ワクチンの安全性、効果、接種後の副反応など）

和歌山県新型コロナワクチンコールセンター ☎ 073-441-2593 fax 073-431-1800

受付時間 9:00～18:00（土日祝含む）

●ワクチン接種全般に係る問い合わせ（接種の手続きなど）

各市町村の窓口



※病気や様々な事情によりワクチン接種が難しい方もいます。ワクチン接種に関連した差別や偏見、いじめなどが起こることのないよう十分なお配慮をお願いします。